

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

ルネサス 技術情報

〒100-0004
東京都千代田区大手町2丁目6番2号
(日本ビル)

TEL (03)5201-5216 (ダイヤルイン)
株式会社 ルネサス ソリューションズ 第一応用技術本部
第一応用技術部

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-H8*-259A	Rev.	第1版
題名	H8S/2628 SSUにて、SS0・SSI機能からI/Oポート機能へ切替える時の使用上の注意事項	情報分類	1. 仕様変更 2. ドキュメント訂正追加等 ③. 使用上の注意事項 4. マスク変更 5. ライン変更		
適用製品	H8S/2628 シリーズ	対象ロット等	H8S/2628 シリーズハードウェアマニュアル ADJ-602-317(H) 第1版	有効期限	
		全ロット		永年	
関連資料					

拝啓、貴社益々ご清栄の段、お慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り深謝申し上げます。H8S/2628 シリーズ SSU に、使用上の注意事項がございますのでご連絡申し上げます。以下に内容を示します。

1. 現象

SS0 端子または SSI 端子を SSU シリアルデータ出力機能から I/O ポート機能に切替える時、半サイクルの Low レベル信号が出力されます。

具体的な条件を以下に挙げます。

条件1 端子が SS0 機能で出力状態の時、SSER の TE ビットをソフトウェアにより 0 ライト、又は SSU ソフトウェアリセット機能を用いてクリア、もしくは SSCRH の MSS ビットをソフトウェアによる 0 ライトでクリアした場合

(不具合発生例) 条件1におけるタイミングチャートを図1に示します。

予め TE=1、MSS=1 に設定(この例ではさらに PCDDR=1、PCDR=1 に設定)

送信終了時 High 出力(又は SOL ビットの操作による High 出力)

TE もしくは MSS を 0 に設定変更

SS0 端子より半サイクルの Low 出力

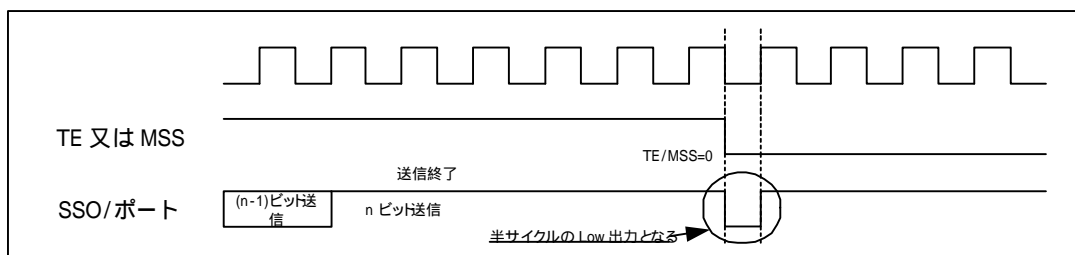


図1 n ビット送信後 TE 又は MSS をクリアし、SS0 SSI 機能からポート機能へ切替える場合

条件2 端子が SSI 機能で、SCS 端子から Low レベルが入力され出力状態の時、SSER の TE ビットをソフトウェアにより 0 ライト、又は SSU ソフトウェアリセット機能を用いてクリアした場合、もしくは SSCRH の MSS ビットをソフトウェアによる 1 ライトでセットした場合

(不具合発生例) 条件2におけるタイミングチャートを図2に示します。

予め TE=1、MSS=0 に設定、SCS 端子に Low レベルを入力(この例ではさらに PCDDR=1、PCDR=1 に設定)
SSI 端子は送信終了時 High 出力(又は SOL ビットの操作により High 出力)
MSS=1 に設定変更、もしくは TE=0 に設定変更
SSI 端子より半サイクルの Low 出力

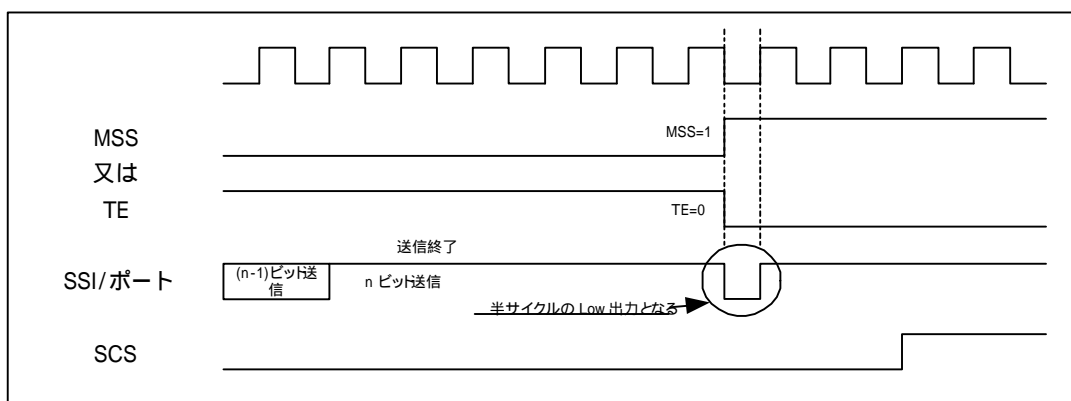


図2 MSS をセット又は TE をクリアし n ビット送信後 SSI 機能からポート機能へ切換える場合

2. 対策

スレーブ設定 (MSS=0) の場合、SCS 端子に Low レベルが入力されている期間は、TE 及び MSS を設定変更しないで下さい。SSI 機能からポートに切換える際には、SCS 端子に High レベルを入力し、SSI 端子をハイインピーダンス状態にして下さい。

マスタ設定 (MSS=1) の場合、本現象を回避するには、モジュールストップビットをセットするか、コンフリクトエラーを発生させ、MSS をクリアして下さい。